



Faronics Power Saveおよび**ADT Fire & Security**

電力管理ソフトウェアがセキュリティ会社を支援

IT電力コストの削減

2009年8月7日

完全管理を目的とした高機能ソリューションユーティリティ

www.faronics.com

電話: 1-800-943-6422 ▪ ファックス: 1-800-943-6488

電話: +1-604-637-3333 ▪ ファックス: +1-604-637-8188

© 1999 - 2009 Faronics Corporation. All rights reserved. Faronics、Anti-Executable、Deep Freeze、Faronics Insight、Faronics Power Save、Faronics System Profiler、およびWINSelectは、Faronics Corporationの商標および/または登録商標です。

その他すべての会社名および製品名はそれぞれの所有者の商標です。

Faronics Power SaveおよびADT Fire & Security

背景

ADTは世界最大の電子セキュリティ・アラームモニター会社で、小規模の小売店から大規模のモール、作業場から自動車工場、地下の駐車場から高層のオフィスビルなどに至る、建物やビジネスを保護するソリューションを提供しています。英国およびアイルランドにおけるADTの業務は、30地域にまたがる3,000台のデスクトップPCとノートPCによってサポートされています。

問題

ADTでは、オフィス機器を稼働するためにITインフラストラクチャが大量の電力を使用していること、さらに社員が他のプロジェクトに携わっていたり、会議中であつたり、コンファレンス通話中に、多くのコンピュータの電源が入ったままになっていることに気付いていました。同社は、こういった作業中にコンピュータの電源を切ることで、大幅なコスト削減が可能だけでなく、何よりも省エネになることに目を向けました。そこで、ADTの社員がカーボンフットプリントを削減し、電力を節約できるように、「プロジェクトグリーンフット」という新しい環境キャンペーンを最近立ち上げたのです。使用していないデスクトップPCやノートPCによる電力の浪費をなくす方法を探すが、このキャンペーンの強力な後押しとなるだけでなく、環境保護に対するADTのコミットメントを示すことができるはずでした。

キャンペーン開始当初は、ユーザーに依存する電源管理プランを実施しており、終業時にワークステーションの電源を切り、出社時に電源を入れるという社員の手作業に頼っていました。この方法には明らかな問題があり、即座にそれが浮き彫りになりました。終業時にコンピュータの電源を切るというルールを無視して、一晩中電源をオンにしているユーザーがいたのです。また、最初はそのルールに従っていたユーザーも、始業時のシステム起動に時間がかかることに気付き、作業に支障がでることから、コンピュータの電源を入れたままにするようになりました。

ADT UKでコンピュータサービスマネージャーを務めるロジャー・バンティング氏は、ワークステーションの電源管理設定を集中管理できる電力管理ソフトウェアがあることを耳にしました。こういったツールを使って、ADTワークステーションの電源状態を1台の中央コンピュータから管理できるようになると、コンピュータの電源を切ることをユーザーに依存しなくてもよくなります。

“同時に検討された他のソリューションの中からPower Saveが選ばれたのは、集中管理機能、および社内全体での節約レポート機能があるためでした。”

既存のソリューションの問題

- 既存のソリューションは作業を妨げる
- 会議中だったり、少しの時間席を離れているだけで、コンピュータの電源がオフになってしまう
- 起動に時間がかかる
- データが失われる可能性がある
- パッチやアップデートが実施されていない
- バックグラウンドジョブが終了される
- ITとユーザーが節約計画に反対する

解決

バンティング氏は、綿密に調査を行い、同氏の条件に見合ういくつかの電力管理ソリューションを見つけました。Faronics Power Saveも候補の1つでした。検討に値するかどうかは、ソフトウェアソリューションにワークステーションの電源設定の集中管理機能があるかどうかにかかっていました。特に、ユーザー設定より優先され、ユーザーが電力管理ソフトウェアを無効化できない機能が必要だったのです。

いくつかの候補を検討した結果、ADTは試験的導入にFaronics Power Saveを選びました。同時に検討された他のソリューションの中からPower Saveが選ばれたのは、集中管理機能、および社内全体での節約レポート機能があるためでした。Faronics Power Saveの初期導入では、テストプログラムで早々に電力節約とコスト削減が認められました。これにより、Power Saveには素早く、数値で確認できる投資対効果があることがADTに立証されたのです。

評価

ADT UKは、現在、2,700台のデスクトップPCとノートPCにPower Saveをインストールしています。ADTにとって、Power Saveが特に優れている点は、管理諸経費が低いということです。実際、ADTでは、電力管理対策を実施する前に、Power Saveで使用される時間とアクティビティベースのルールにより利益を享受しています。

「Power SaveをすべてのデスクトップPCとノートPCにインストールしてこれで5か月になります。2009年3月から2009年7月のこの期間において、ADT UKでは、181,037キロワットの電力を節約しました。これに試験的導入時点の節約も加えると、なんと227,088キロワットになります」とバンティング氏は述べています。現在、ADT UKでは、1か月に36,200キロワット以上の電力を節約しています。

カーボンフットプリントの削減、省エネ、よりグリーンな企業になるという、ADTの今年以降の重要な戦略的目標の1つが、Power Saveにより実現されました。英国での成功の結果、ヨーロッパ・中東・アフリカ地域全体での消防およびセキュリティオペレーションに、このソフトウェアが段階的に導入されることになりました。

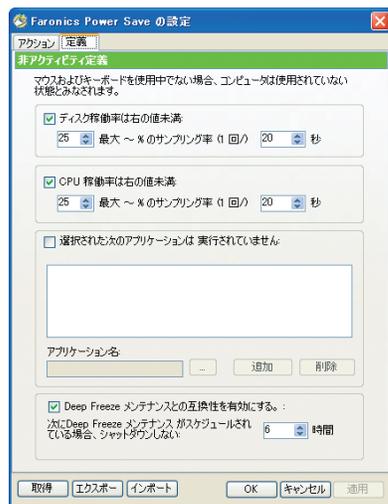


Faronics Power Saveとは

Faronics Power Saveは、社内全体で管理可能で、ユーザーまたはITプロセスに支障のない電力管理をデスクトップコンピュータに提供します。

主な利点

- コンピュータの高機能電力管理
- ユーザーまたはITプロセスに支障がない
- 電力の消費と節約レポート
- 監査モードによる測定と検証
- オペレーティングシステムの電力管理を無効化
- 集中管理コンソールから導入・管理可能
- WindowsとMac OS Xに対応



Faronics Power Saveは、Windows電力設定の無効化、操作が行われる前にユーザーへの通知、操作が行われる前に選択したアプリケーションが実行中であるかどうかを検出するなど、さまざまな電力ポリシーオプションを提供します。



Faronicsのソリューションにより、企業は、既存のIT投資の生産性を高め、IT運営コストを削減できます。予算引き締めが一層進み、マーケットのプレッシャーは継続し、限られた時間でより多くの作業をこなさなければならない今日の経済状況で、この利点は重要です。

企業のITインフラストラクチャの管理、簡素化、安全保護において高い実績を誇るFaronicsは、既存のテクノロジーを最大限に生かすことにより、手間をかけずに生産性を上げることを可能にします。

Faronicsは1996年に法人化され、米国、カナダ、英国にオフィスを構え、世界中のチャネルパートナーと提携しています。当社のソリューションは世界150カ国以上で導入され、30,000社以上の顧客を支援しています。

連絡先

所在地: **USA**

2411 Old Crow Canyon Road, Suite 170
San Ramon, CA 94583 USA
電話: 800-943-6422
ファックス: 800-943-6488

ヨーロッパ

Siena Court, The Broadway
Maidenhead, Berkshire, SL6 1NJ UK
電話: +44-1628-509008
ファックス: +44-1628-509118
電子メール: eurosales@faronics.com

カナダ/国際

609 Granville Street, Suite 620
Vancouver, BC V7Y 1G5 Canada
電話: +1-604-637-3333
ファックス: +1-604-637-8188

Web: www.faronics.com

電子メール: sales@faronics.com

営業時間: 午前7:00時から午後5:00時 (太平洋標準時刻)

著作権

本書は組織内における非商用的な個人の参考または私的な使用を目的としており、それ以外の目的で、ダウンロード、表示、印刷、複製することはできません。すべての著作権およびその他の財産権に関する表記を維持しなければなりません。本書を刊行、送付、修正、商業的利用、または改変するライセンスは許諾されていません。この限定付きライセンスの範囲以外で本書を複製または使用するには、発行者から許可を得る必要があります。